


<http://amano-yukio.jp>

千葉県議会議員（千葉市稲毛区） ゆきお

天野行雄

 天野 ゆきお 〒263-0024 千葉市稲毛区穴川2-12-6
 政務活動事務所 TEL 043-308-7272 FAX 043-308-7171
 E-mail yukio.amano@nifty.com

No.21



千葉県議会報告



県政一新!

「生活の安心」と「豊かな千葉」を創る!

県政一新への思い

私の県政への思いは、千葉県民が日々の暮らしに「潤い」と「豊かさ」を実感できる千葉県の実現です。憲法で保障された人権の保護をベースに、安定雇用の実現による安定した生活、社会保障制度の充実による安心な社会、治安維持と防災対策等による安全な地域を創り上げていきます。

ところが私たちを取り巻く社会経済情勢は、大きな転換期にあります。少子高齢化の進展とともに人口減少社会の到来、そして「人生100年時代」ともいわれる長寿命化など、私たちの生活に大きな影響を与える政策課題が山積しています。私たちの住む千葉県も数年後にはピーク人口を迎え減少していきます。

これまで人口増加を前提とした時代に設計された社会保障制度は、超高齢化社会における安心を提供できなくなりつつあります。また、長寿命化が進み高齢期が長くなると、医療や介護の需要が拡大していきます。現状のままでは高齢者人口が急増する千葉・京葉地域や東葛地域では、医療・介護施設が不足することは明白です。また、想定以上に医療費や介護費用が増大すると老後資金が不足することも懸念されます。

さらに人口減少及び高齢化社会の進展により、今後10年間で労働力人口が全国で約500万人減少すると予想されています。労働力人口が減少すると消費の中心となる人口が減少して、日本経済への影響も懸念されます。また老後生活に対する不安から預貯金が膨らみ消費行動は抑制され、デフレ経済へ逆戻りする可能性も指摘されています。この様な現状を踏まえ、社会保障制度の改正と経済・労働対策など、関連政策の充実が必要です。

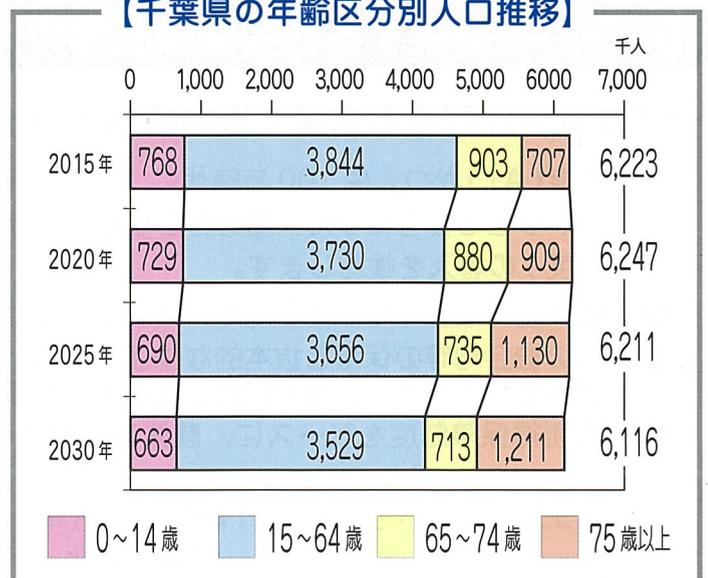
人口減少は、我が国が直面する最大の問題だといえますが、人口減少を悲観するだけでなく、人口減少時代の新たな国のかたち、とりわけ地域で暮らす人たちの豊かさや幸せをどう創り上げていくかが問われています。

現在、人工知能(AI)やIoT等の技術革新といった第4次産業革命が急速に進んでおり、諸外国においても生産性向上に向けた取り組みが加速しています。我が国も人材育成の強化と企業への支援体制を確立するなど、革新的イノベーションによって経済成長の実現や労働力不足の解消等、社会的課題の解決を目指すべきです。

また、国と地方の役割を見直し、地方の課題は地方で解決できる仕組み作りが求められています。中央集権体制を見直し、国から地方へ権限と財源の移譲により地方分権を今こそ進めていかなくてはなりません。

私は、県政を一新するという気概を持って県政に取り組み、県民の「いのち」と「暮らし」を守る政治を推進します。

【千葉県の年齢区分別人口推移】



I. 千葉県経済の安定成長とイノベーション

「第4次産業の振興：イノベーション・ニューディール政策」

世界は驚くべきスピードで変化しています。人工知能(AI)やIoTをはじめとしたテクノロジーの進歩は、従来のライフスタイルや経済社会のあり方を大きく変えています。

革新的イノベーションによって、経済成長の実現や生産性の向上による労働力不足の緩和等、社会問題の解決を目指す「イノベーション・ニューディール政策」を推し進め、日本を再び世界一の技術大国に押し上げます。

- AI投資を倍増し、企業における人的投資・設備投資・研究開発等への支援
- わが国の産業を保護・強化するための知的財産制度の強化
- 産業人材の育成強化と職業能力開発事業の充実

[説明] 第4次産業：人工知能、情報通信、医療、教育サービスなどの知識集約産業

IOT(アイ・オー・ティー)：あらゆる物がインターネットを通してつながることによって実現する新たなサービス・ビジネスモデル



- 成田空港50万回化に向けた条件整備、第4次産業の振興、観光立県ちばの実現など、戦略性をもって産業振興を推進するとともに、既設企業及び新規立地企業への経営支援策を積極的に展開します。
- 県内企業数の99.8%を占める、中小企業の経営基盤強化策の展開や地域商店街の活性化方策を充実します。
- 「千葉県の食」や「スポーツ・ツーリズム」を推進し、観光産業の振興やレクリエーション施設の充実に取り組み、魅力あふれる千葉県づくりを進めます。そして県内外や海外の観光客の誘客へ繋がります。
- 公平・公正なワークルールに基づくディーセント・ワークの確立により、働きがいと生きがいに繋がる労働環境を実現します。
- 県内の非正規労働者は拡大を続け、働く者の約4割を占めています。雇用形態にかかわらず均等待遇の実現と正規雇用への転換支援策の充実を図ります。
- 「職場における育児・介護の両立支援体制」や「職場の上司・同僚の理解」等、職場の環境整備により、女性の活躍を支援します。
- 移住政策(県外・県内)を推進しアンバランスな人口の是正により、地方の活性化を図ります。
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催(2020年)を契機に、将来を担う人づくりや地域の活性化に取り組むとともに国際交流を推進します。また事前キャンプ等を通じてスポーツ文化の振興に取り組めます。

【千葉県の労働の実態：平成29年】

正規人数	非正規人数	合計
1,693,800人	1,114,300人	2,808,100人
60.3%	39.7%	100%

[説明] ディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)：人間らしい生活を継続的に営める人間らしい労働条件

II. 安心を提供する社会保障制度の充実

「社会保障制度の充実：日本版ベーシックインカム構想」

人工知能(AI)かつ人生100年時代に、誰もが安心できる生活保障制度として、英国のユニバーサル・クレジットなどを参考にした、給付付き税額控除などの「日本版ベーシック・インカム制度」(基礎的所得保障制度)の導入を検討します。

- 基礎年金の最低保障機能を高め、高齢者向け生活保障給付を創設
- 教育の機会均等の保障と抜本的な少子化対策として、子ども手当などの現金給付や教育の無償化などの現物給付による大胆な子育て・教育負担の軽減策を講じる
- 戸別所得保障制度をベースに、農業者に対する新たな直接支払制度の導入



[説明] ・ベーシックインカム：政府が国民全員に対して生活に必要な最低限のお金を給付する制度

・ユニバーサル・クレジット：英国で2013年より、複雑な福祉制度を単純化するために段階的に導入。福祉手当の一本化、一定期間の就労に就かない場合の罰則規定等がポイントとなる。

- 千葉県の次代を担う子どもたちの育成支援に取り組みます。子育てニーズの多様化にあわせ、待機児童の解消や放課後児童クラブの拡充など諸施策を展開し、仕事と生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）と地域社会全体で支援する体制づくりに取り組み、安心して子どもを産み育てられる「チルドレン・ファースト」の社会を構築します。
- 学校教育においては、学力向上に取り組むとともに、いじめや不登校など多様な課題への対策を進めます。さらに学校・家庭・地域の連携強化と繁忙な教職員に対する支援策を拡充します。
- 県民が安心して良質な医療を効率的に受けられる体制を整備するために、医師・看護師不足の解消など高齢化社会に対応する医療資源を充実します。さらに、かかりつけ医（総合診療医）の拡充によるプライマリ・ケアの確立と救急医療体制の整備に取り組みます。
- 高齢者の皆さんが住み慣れた地域で、安心して元気に生活できるように、健康寿命の延伸対策として生活習慣病対策に取り組みます。
- 県内で整備が遅延している医療・介護資源の充実と地域連携を強化して、在宅医療制度を確立するとともに、地域包括支援センターの機能強化を図り、地域包括ケアシステムを実現します。

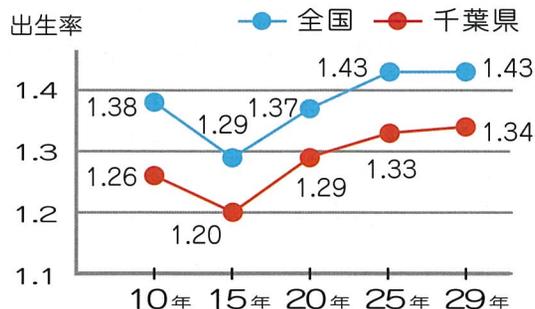
[説明] プライマリ・ケア：身近にあって、何でも相談ののてくれる総合的な医療

【医療・介護に関する千葉県の現状】

病院	全国 44 位
一般診療所	全国 45 位
介護老人保健施設	全国 43 位
訪問介護ステーション	全国 40 位
医師	全国 45 位
看護師	全国 46 位

※人口あたりの人数・施設数の順位

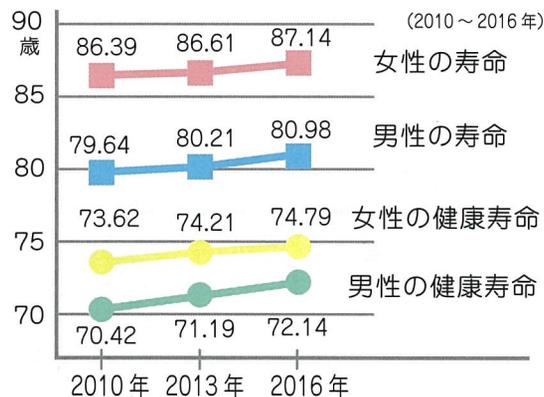
【合計特殊出生率の推移：全国・千葉県】



【千葉県のいじめの認知件数】

学校種別	25年	27年	29年
小学校	13,914	22,563	30,006
中学校	6,259	6,588	6,476
高等学校	264	387	627
特別支援学校	9	127	174
合計	20,446	29,665	37,283

【日本の平均寿命と健康寿命】



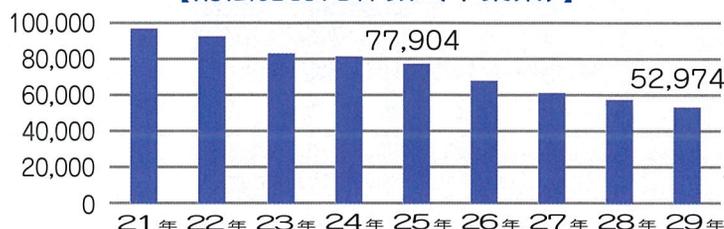
出典：健康日本 21(第二次)推進専門委員会、2018年

2017年の日本人の平均寿命は女性が87.26歳、男性が81.09歳

Ⅲ. 安全・安心に生活できる街づくり

- 南関東地域において大規模地震の発生が想定されています。また頻発するゲリラ豪雨や巨大化する台風への対策も重要です。減災対策の視点から災害に強い社会資本の整備を進めるとともに、自助・共助・公助が一体となった防災先進県を目指します。
- 県内の刑法犯認知数は減少し回復傾向にあります。依然として盗難が発生しています。地域の防犯力を向上させ、犯罪の起こりにくい環境整備を推進します。また、県民の交通安全に対する安全意識の向上と条件整備を進めます。

【刑法犯認知件数（千葉県）】



Ⅳ. 地方分権とガラス張りの県政

- 地方分権を推進する事が、真の地方の創生に繋がると思います。一括交付金の復活を目指すとともに国から地方へ権限と財源の移譲を進めます。
- 議会改革を推進し、市民から見えにくく分かりにくい県政をガラス張りの県政に改革します。さらに議員定数の削減と選挙区の見直しを行い、議員自ら身を切る改革を推進します。

【議会改革全国ランキング】

(都道府県)

千葉県の全国順位 **32位**

全国1位 大阪府
全国2位 兵庫県
全国3位 鳥取県

出典：早稲田大学マニフェスト研究所

★「成田空港の機能強化計画」の概要と経済波及効果

成田空港の機能強化ですが、成田空港の年間発着回数が50万回に達すると想定される、2032年までを計画期間として整備が進められます。用地の取得や騒音対策等、多くの課題がありますが、空港発着容量の50万回化により、経済波及効果や空港に関連する施設での雇用の拡大が図られ、千葉県経済に大きな影響(メリット)をもたらす事となります。住民に対する親切・丁寧な対応を基本に、機能強化計画に沿って円滑に空港整備を進める必要があります。

【年間発着容量】 **30万回⇒50万回まで拡大**

【計画の柱】

1. 3,500m C滑走路新設
2. 2,500m B滑走路を1,000m延伸し3,500mへ
3. 夜間早朝の発着制限を緩和

【経済波及効果等(想定)】

空港発着容量	30万回	50万回
経済波及効果	1兆4,872億円	2兆5,168億円
空港内従業員数	約4.3万人	約7万人

【成田空港滑走路の具体的な位置】



※B滑走路の延伸及びC滑走路の整備については、東関東自動車道及び圏央道を含む道路等に多大な影響を与えるため、今後関係者と協議・検討していく必要があります。
※1,000haと大規模な敷地拡張となるため、展開候補地については、今後、関係者と協議・検討していく必要があります。

出典 成田国際空港株式会社

発行

天野ゆきお
政務活動事務所

住所 千葉市稲毛区穴川2-12-6
電話 043-308-7272 FAX 043-308-7171

天野ゆきお略歴

千葉県銚子市にて出生。
東京電力(株)千葉支店入社、
連合千葉副事務局長を経て千葉県議会議員(3期目)となる。
国民民主党千葉県総支部連合会 幹事長を務める。
最終学歴は、神奈川大学大学院修了(法学修士)。
生涯学習の一環として放送大学に在学中。
趣味は、トライアスロン、旅、釣り、
オートバイ等のアウトドアスポーツ全般。